

- ・山梨県立病院機構理事長挨拶
- ・地域連携研修会の報告と次回予告

ご挨拶

山梨県立中央病院 医療連携 だより

この県立中央病院で患者さんを診るということ； 連携という強いSafety Netの上で



山梨県立病院機構理事長
東京大学名誉教授

小俣 政男

大学卒業後、千葉大附属病院で、米国6年間を挟み前後16年間、東京大学附属病院で17年間患者さんを診てきた。

患者さんが運び込まれた時、県立中央病院と比べ、どう違うか、ある程度答えられる。

かつてこれらの病院で当直をすると、朝の明けるのが待ち遠しいことがあった。なぜなら、自分の領域以外の患者さんが来たときの対応をいかに大学附属病院で行うか？

敷地は広いし、廊下を走るだけで10分かかる。医局に電話しても、それが適切な専門医か不明である。一方、当院は何曜日、何時何分には何先生が何をされているか、同じ屋根の下でわかる。

重症になればなるほどチーム編成が重要となる。看護・コメディカルを含む最良のチームの迅速な形成が患者さんの命を救う。

連携に必要なスタッフの数は如何？独法化以降、12年間で職員750人から1,300人（医師も132名が現在210名）と増えた。

では、質は？平成22年以来、同じ屋根の下で12年間、1日の半分以上院内に身を置いてきた。見聞するところ、当院の医師の診療密度、つまり1日に行う医療行為、それも年余にわたる密度、つまり、積みあげた臨床経験は比類がない。良質なチーム編成が、何を患者さんにもたらすか自明である。比べようのない医療連携（院内）を当院で見えたという実感である。

しかし、医療は、いや、患者さんは、さらなる連携を求めている。つまり、院外医療連携・地域医療連携である。

幸い、地政学的に我々の病院は甲府のほぼ真ん中に存在する。急性期及び慢性期の患者さんに対して、院外医療連携を実践遂行する上で、まず患者支援センターが核となってほしい。その期待は大である。と同時に、院外の幅広い領域の医療・看護・福祉に関わる方々のご協力を切にお願いしたい。

繰り返しになるが、県立中央病院全職員1,300名、同じ屋根の下での一致団結連携は、何事にも変えがたい。殊に、病める患者さんにとってそうあって欲しい、そうありたいと念じ努力し、工夫している。



地方独立行政法人山梨県立病院機構

山梨県立中央病院

YAMANASHI PREFECTURAL CENTRAL HOSPITAL

患者支援センター

〒400-8506 山梨県甲府市富士見1-1-1

TEL.(直通)055-253-9000/FAX.(直通)055-251-7733

新任医師の紹介

Introduction of new doctors

2022年度より22人の医師が赴任し、外来を担当します。
この場を借りてご紹介させていただきます。



循環器内科

市川 優真

本年度から循環器内科外来を担当させていただきます市川優真と申します。私は山梨大学を卒業後そのまま山梨大学で初期臨床研修を終了し昨年度から当院で循環器内科医として勤務しております。当院循環器内科は狭心症や心筋梗塞といった虚血性心疾患に対する心臓カテーテル治療、不整脈に対するカテーテルアブレーションやペースメーカー植込み等心疾患の広範囲にわたって診療させていただいております。私自身もまだまだ勉強の身ではありますが誠心誠意診療させていただきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。



消化器内科

村田 智祥

今年度より山梨県立中央病院消化器内科に所属する村田智祥と申します。当科は内視鏡診断・治療、ゲノム診療など幅広い分野に力をいれております。地域の医療に貢献できるよう精進してまいりますので何卒宜しく御願い申し上げます。



胃食道外科

池亀 昂

静岡がんセンターで3年間胃がん治療を学ばせていただき、4月より再び中央病院外科で勤務をさせていただきます。がんセンターでは特にロボット手術・腹腔鏡下手術に尽力してまいりましたので、山梨でその経験を患者さんに還元していきたいと考えております。また胃がんのゲノム診療にも積極的に取り組んでおります。患者さんが安心して治療をうけていただけるよう明るく親身に診療するよう心がけていきますので、何卒よろしくお願いいたします。



循環器内科

渥美 真生子

今年から県立中央病院に赴任いたしました、循環器内科の渥美真生子と申します。4月から循環器外来を担当させていただきます。みなさまによりよい医療を提供できるように日々努めていきますのでよろしくお願いいたします。



循環器内科

鮎沢 晶

本年度より循環器内科に着任いたしました、鮎沢晶と申します。患者さんひとりひとりのお悩みに寄り添った診療を心がけて参ります。微力ながらお役に立てるよう頑張りますのでよろしくお願いいたします。



呼吸器内科

島村 壮

本年度4月から赴任いたしました、専攻医4年目の島村壮と申します。未だ至らぬところも多いかとは存じますが、精一杯、地域の中核病院の呼吸器内科医として職務を全ういたします。よろしくお願いいたします。



整形外科

亀山 啓吾

整形外科医として患者さんに寄り添った希望を心がけております。一緒に頑張りましょう。



呼吸器内科

秦 康貴

4月より当院呼吸器内科に赴任しました、秦康貴と申します。患者さんに寄り添い、地域の医療に貢献できるよう邁進いたしますので、何卒よろしくお願いいたします。どうぞよろしくお願いいたします。



脳神経外科

齋藤 総

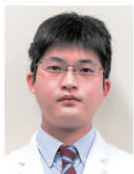
脳神経外科医の齋藤総です。脳卒中を中心に、脳疾患の治療にあたっています。皆様の役に立てるよう努力いたしますのでよろしくお願いいたします。



泌尿器科

岸蔭 貴裕

4月から赴任した泌尿器科の岸蔭(きしかげ)と申します。早速「名前の読み方がわからない」「出身はどこだ」と患者さんから質問攻めの外来がスタートしています。出身は関西、前任地は信州大学で、長野県での勤務が長く山梨県勤務は初めてですが、地域の特性を理解しより良い医療を提供できるように心がけます。末永くよろしくお願いいたします。



泌尿器科

稲毛 康太

山梨県立中央病院泌尿器科に本年度より所属いたしました、稲毛康太と申します。前任地は信州大学医学部付属病院であり、長野県を出るのは11年ぶりになります。地域との連携、ガイドラインに準じた診療を心掛けています。よろしくお願いいたします。

糖尿病内分泌内科

保坂 優希

4月から赴任いたしました保坂優希と申します。山梨県へ来て2年、不慣れなことも多く勉強中の身ではございますが、患者さん自身、患者さんの生活に寄り添った診療ができるよう精一杯務めてまいりますのでよろしくお願いいたします。

糖尿病内分泌内科

前島 優

4月より赴任となりました糖尿病・内分泌内科の前島優と申します。県内の糖尿病・内分泌疾患を有する患者さんの診療に少しでも貢献できるように一所懸命頑張ります。よろしくお願いいたします。



リウマチ・膠原病科

日比野 智

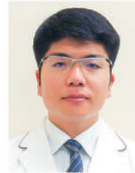
2022年4月よりリウマチ膠原病内科外来を担当させていただくことになりました。まだまだ研鑽途上の身でもあり、未熟な部分も多分にあるかと存じますが、患者さん一人ひとりのお話を拝聴し、できる限りのお力添えできればと考えております。よろしくお願いいたします。



リウマチ・膠原病科

窪田 総一郎

今年度よりリウマチ膠原病科の外来を担当させていただきます窪田総一郎と申します。膠原病の症状は非常に多岐に渡りますが、患者さんひとりひとりに合った治療を患者さんと一緒に考えていけるよう努めさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。



総合診療科・感染症科

三須 智榛

当院で初期研修を終え、4月より総合診療科・感染症科で外来、病棟、院内感染対策業務に従事しております。初診外来では時間をとって患者さんの訴えをお聞きし、丁寧な診察を心がけております。診断に困った症例など、ご紹介いただければ幸いです。

眼科

篠原 未紗

4月より県立中央病院勤務となりました、眼科の篠原未紗と申します。まだまだ勉強中の身ではありますが、外来診療・手術とも全力で取り組ませていただきます。よろしくお願いいたします。



耳鼻咽喉科

堀内 辰也

山梨県立中央病院耳鼻咽喉科の堀内辰也と申します。耳、鼻、咽頭の疾患や、嚥下機能などの機能低下に対して患者さん一人一人に寄り添った診療を行ってまいります。何卒よろしくお願いいたします。

耳鼻咽喉科

木内 有紗

4月から赴任しました耳鼻科の木内と申します。まだまだ勉強中の身ではありますが、山梨県の医療に貢献できるよう精一杯頑張ります。何卒よろしくお願いいたします。



皮膚科

浅川 まりか

4月から山梨県立中央病院皮膚科に赴任しました浅川まりかと申します。患者さんの立場にたつて不安や心配を少しでも少なくしながらの診療を心がけて参ります。どうぞよろしくお願いいたします。



口腔外科

林 駿哉

4月から口腔外科に着任した林駿哉(はやしゆんや)と申します。まだまだ若輩者ではございますが、地域医療に貢献できるように日々精進していく所存です。個々の患者さんに寄り添い、最善の医療を提供できるよう心掛けて参りますので、よろしくお願いいたします。

地域連携研修会が 開催されました

第 70 回

「新生児マススクリーニングと希少疾患」

1.20 THU

山梨県立中央病院 小児科部長 齋藤 朋洋 医師



令和4年1月20日(木)、Webシステムを利用して地域連携研修会を開催しました。

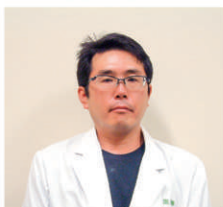
当院、小児科の齋藤医師より「新生児マススクリーニングと希少疾患」について講演し、院内外合わせて32名の方に参加していただきました。

第 71 回

「新しいMRI装置の紹介」～MRCPを中心に～

2.17 THU

山梨県立中央病院 放射線部統括副部長 齋藤 彰俊 医師
放射線部主任 小堀 甲子朗 放射線技師



令和4年2月17日(木)、Webシステムを利用して地域連携研修会を開催しました。

当院、放射線部の齋藤医師より「新しいMRI装置の紹介」について講演し、院内外合わせて42名の方に参加していただきました。

第 72 回

「いち泌尿器科医のお話 ～尿の流れとともに・・・～」

3.10 THU

山梨県立中央病院 泌尿器科 医師 副院長 保坂 恭子

令和4年3月10日(木)、地域連携研修会をwebにて開催しました。今回は、保坂副院長より退官を記念した講演をしていただき、院外14名、院内53名の参加がありました。長年、泌尿器科のために取組まれてきた道のりと、臨床における最新治療の様子、後世への期待について話されました。



Web研修会

地域連携研修会のご案内

令和4年6月開催

日時: 6月27日(月)
18:30~19:30

Zoomでの開催

顎骨壊死について

山梨県立中央病院
口腔外科 部長

高橋 幸信 医師

研修会の情報は
ホームページでもご案内しています。
併せてご覧ください。

<http://www.ych.pref.yamanashi.jp/>

▶ ホーム / 医療関係者の方へ /
講演会・研修会 / 地域連携研修会



紹介状のある初診患者さんは、患者さんご自身による電話予約や、かかりつけ医によるFAX予約ができます。 **FAX. 055-253-2903**

当院では、日頃よりかかりつけ医を持っていただくことをお勧めしています。
体調に変化があったときはかかりつけ医に相談の上、紹介状(診療情報提供書)を持って受診してください。
紹介状のある初診患者さんは、初診の予約ができます。予約をすることで初診はさらにスムーズになります。

1

かかりつけの 医院を受診

紹介状をもらってください

2

専用ダイヤルにお電話

以下にお電話ください

☎ **055-253-7900**
9:00~17:00 月~金(祝祭日除く)

①紹介状②電話診療予約申込書
③当院の診察券(お持ちの方は)

お電話前に
準備して
ください

3

受診当日

ご予約30分前に総合案内にお越しください

お持ちいただく物

①紹介状 ②電話診療予約申込書
③保険証 ④当院の診察券
⑤受給者証(老人医療、公費等該当する方)